スーザン－ロリ　パークスの戯曲，*The America Play* について

髙　見　　恭　子

新進の作家である（本人の言によると劇作を始めて10年になるという）スーザン－ロリ・パークス①は劇作におけるいわば過激な実験主義者である。劇作に加え，昨年（1993年）の8，9月，Los Angeles Festival でエイドリアン・ケネディーやヌトザケ・シャンゲと共に“reading”の分野で出場したり，最近では劇作に加えてスパイク・リーの Forty Acres and Mule のための映画の台本も執筆中であるといったり，活躍の舞台は広いようだ。さて，彼女の最新作，*The America Play*（1994年）はカテゴリーとしては“postmodern drama”に属すると言えよう。現在も文化現象としてアメリカを席巻し続けているのはいわゆる“postmodern culture”と言われるものであり，その主たる担い手はフェミニズムと多文化主義（multiculturalism）であることは言うまでもない。そして，この現象の中で（筆者があえて“現象”と称するのはそれが“イズム”の乱立による混沌とした状況を呈しているからである），歴史の再解釈を巡る論争がその頂点にある。歴史とは勿論アメリカの歴史であり，多文化主義の視点ではそれは“ヨーロッパを中心とする単一文化主義（Eurocentric monoculturalism）”の産物と言うことになる。そして，この戯曲のテーマもそこにあるのであり，この作品もまたそれに対して果敢な挑戦を試みたものと言えよう。

作者，パークスはこの作品に関するインタビューの中で，彼女が“the non-dominant culture”の出身であること（つまりアフリカン・アメリカンであること）で歴史に対して違った認識を持っているのかという質問に対し，“the

dominant culture”の出身でない者は“the alien（異星人）”であると答えた後，次の様に述べている。「……私は歴史と論争を始めている，何故ならそれは私には何の役にもたっていないから。……この戯曲において，私は単純に『歴史は何処にあるの』と問い掛けている，私には見えないのだから。歴史が見えないなら自分で作って見ようってね。」②又，この作品の冒頭における“In the beginning, all the world was *America*.”というジョン・ロックの言葉の引用は極めて意義深い。それは世界はその始まりにおいてすべて地図に無い空白の場所であったことを意味している。その空白を埋める作業，つまり開拓という人間の営為が歴史であるとすれば，それをどう活用するかが今を生きる人間の課題であるということに帰着する。この作品は今日のアメリカの現状と建国の理念の相関関係を見据え，そこから生まれた言わば冗談噺である。パークスはアメリカの歴史の中では自分は“the alien”であると規定しているのであるから，この冗談を歴史がどう解釈しようと“Anything you want. It's okey, you can laugh.”なのである。

The American Play は歴史に参画することを切望した名もない一人の男（パークスの言葉を用いるならば“the alien”）が独自の方法でいかにそれを実現したか（Act 1），そして彼の妻の手によっていかにしてそれが息子に継承されたか（Act 2）という物語である。この作品は1994年1月13日から2月5日にかけて Yale Repertory Theater において初演された。

登場人物その他は以下のとおり。

The Characters

Act One :

The Foundling Father as Abraham Lincoln

A Variety of Visitors

Act Two :

Lucy（The Foundling Father の妻）

Brazil（The Foundling Father と Lucy の息子）

The Foundling Father

Two Actors

＊（　）内は筆者

Places

A great hole. In the middle of nowhere. The hole is an exact replica of The Great Hall of History.

Synopsis of Acts and Scenes

Act One : Lincoln Act

Act Two : The Hall of Wonders

A. Big Bang

B. Echo

C. Archeology

D. Echo

E. Spadework

F. Echo

G. The Great Beyond

この作品の舞台は大きな穴，しかも何処でもない場所の真ん中にあるという。それは時間と空間の概念を越えたブラック・ホールを連想させる。ここに置いては歴史は博物館の歴史大ホールに展示された品々のように空間に閉じ込められた存在でしかない。だが，二幕の各場の概要からその穴は創造の可能性を秘めた穴でもあることが推察される。“hole（穴）”は“whole（全体）”を連想させ（“He digged the hole and the whole held him.”③），やがてそれらが掻き混ぜられ，そこから一人の人物が生み出された。それが The Foundling Father である。foundling は迷い子，拾い子の意味を持つが，the founding fathers（建国の父）を捩ったものである事は容易に想像できる。

リンカーン幕と名付けられた第一幕は The Foundling Father（以下略して

The FF とする）の独白と時折訪れる客とのガンプレイのシーンで構成されている。彼は The Lesser Known（The Great Man, つまりリンカーンを意識したもの，以下略して The LK とする）と称される人物について語り始める。勿論 The LK とは The FF のことである。小さな町の墓堀人であった The LK は姿形がリンカーンとそっくりであったため，人々から称賛される人物になること，自分の人生を形あるものにすることを夢見ていた。また，The LK は小さな町に住んでおり，The Great Man の生きた時代は彼の生まれる遙か昔であったため，大統領の妻，Mary Todd Lincoln の "*Emergency, oh, Emergency* please put the Great Man in the ground." という暗殺後の懇願の声は彼に届かなかった。それが彼に大きな悔いを残した。何故なら，彼は墓堀りを生業とする者であったから。だが，彼の人生を決定づけたのは妻の Lucy と新婚旅行に訪れた歴史のテーマパークであった。穴堀人である彼はそのホールの大きさに感銘を受け，更に，そこにおいて「再現された歴史性」("the Reconstructed Historicities") と称されるもの，つまり，偉人の人形のパレードや歴史の名場面に魅せられてしまう。そして，パレードに向かって発した "Ohwayohwhyohwayoh", "Hello" という掛け声は彼の人生を「歴史性」に繋げるパスワードとなった。④　やがて彼は中なる「歴史性」からの召還の声に導かれ，食事中に妻と息子を残したままリンカーンの足跡を生きるべく西部に向かった。彼の使命はリンカーンのように（開拓者のように）自力で西への道を切り開くこと，そして，そこにおいて彼自身の「歴史大ホール」を創造することにあった。やがて彼は生涯最大の穴を堀り，いぼまで付けて完璧に自分を the Great Man に近づけ，町々を物乞いしてまわる。西部人に「双子」のリンカーンありと認められるに至った彼はついに究極のリンカーンを演じる事を余儀無くされる。それは暗殺のシーンを再現することであった。彼は自分のホールを暗殺の場となったフォード劇場に見立て，彼はそのボックス席に腰掛ける。観客は１ペニーを払い暗殺者，John Wilkes Booth となり彼を撃つという趣向であった。

A Man : Ready.

The Foundling Father : Haw Haw Haw Haw

(rest)

HAAW HAW HAW HAW

Booth shoots. Lincoln slumps in his chair. Booth jumps.

A MAN (Theatrically): "Thus to the tylants!"

(rest)

Hhhh. (*He exits.*) ⑤

The FF の笑い声はリンカーンが Tom Taylor (1817-80) の喜劇, *Our American Cousin* ⑥を観劇中に暗殺されたという史実を採用したもので, 上記の「暴君はかくのごとし。」はその時の Booth の言葉である。彼はその他, 観客に同じく Booth の言葉, "The South is avenged!" や, "Strike the tent." ⑦, "Now he belongs to the ages." ⑧, "Theyve killed the president!"⑨ といった歴史に残る名句を叫ばせる。The FF はこのようにすることによって観客も歴史の一員となりうると考えたのである。

The LK はやがてより観客を楽しませる為に意匠をこらすようになった。山高帽子にフロックコートのいでたちはまさに黒人版のアンクル・サムである。ついに彼は彼にとって最も大切なリンカーンのシンボル, 常に宝石箱に入れ持ち歩いてきた顎髭を黄色に付け替えるにいたるのである。この行為によって彼は観客から "Liars!" という烙印をおされてしまう。The LK は the Great Man と対等になるべくひたすら過去にむかった。だが, the Great Man は過去に生きてかつ彼の先を行っている。The LK は考える, もしかすると The LK は急ぎ過ぎて方向を間違えたのかも知れない, もっとゆっくり進むか歩みを止めてしまうか, 又は the Great Man に彼を抹殺させる, つまり過去 (歴史) に復讐させれば追いつけるかも知れないと。かくして The LK は自分を見失いもみくちゃになり The Foundling Father となってしまうのである。

The FF にとって生きる糧は穴を掘ることであり, リンカーンそっくりに生

まれついたことは彼の天命であった。その天命とはその人物の外見，言葉，行為をそっくり真似ること，つまり限りなく本物に近い贋物（a faker）になることであり，自らも同じ様に銅像となって歴史に残ることと彼は解釈した。パークスは登場人物が全て黒人である事と断っていないが，そうでなければこの作品は機能しない。リンカーンを黒人が演じることから生じる奇妙さがそのいかがわしさを際立たせる。かくして，生きる糧と天命を同時に遂行しようとした彼の行為は歴史に罰せられ，穴の中で彼は消滅していくのである。彼の目指した「贋物歴史博物館」は“hole（穴）”であり，“hall”ではなかったことは言うまでもない。

第二幕は「驚異のホール」と名付けられているが，第一幕と同じ The FF の「大きな穴」が舞台である。各場のタイトルは全て「穴」から想起されるイメージで構成されている。A. Big Bang は第一幕のガンプレイの音とその反響を意味しているが，世界創造のイメージも喚起させる。尚，このすさまじい反響音は二幕の間折に触れ繰り返される。C. Archeology は「掘る」ことに通じるし，遙かな過去との遭遇を示唆する。E. Spadework の“spade”は文字どうりの意味と同時に俗語で軽蔑的に「黒人」という意味を持つ。最後の場 The Great Beyond は未来を思考するものであるから，この「偉大な穴」は時空を包含する世界，「驚異のホール」となる可能性を秘めている。

それらの間の場（B，D，F）は Echo と名付けられ，第一幕における The FF のリンカーン幕が繰り返される。それは*Our American Cousin* のシーンと The FF のガンプレイの前口上からなっている。前口上は建国の歴史，リンカーンの功績を讃える言葉そしてクライマックス，フォード劇場のシーンという構成になっている。だが，その芝居そのものに意味があるのでは勿論ない。The FF がこだわったのはリンカーンの死であり，この設定は暗殺された場所とその瞬間を観客に想起させる装置に過ぎない。

二幕における Echo の場は大統領の頭に残された銃痕に通じる底無しのブラック・ホール（死を意味する）に落ちていった The FF のメッセージであり，それは二幕全体に渡ってガンプレイの銃声としてこだまし続けている。時を経

て三十年後，The FF に捨てられた彼の妻，Lucy と息子の Brazil がこの「穴」を訪れる。彼らは The FF の死と彼がきちんと葬られなかったことを痛んでやって来た。

A. Big Ban において，Lucy はトランペットの補聴器を耳に当て歩き回り，Brazil は何かを堀り当てようとしている。Lucy は人がいまわの際に打ち明ける秘密を聞き取りその秘密を守ることを生業とする "a Confidence" であり（その為，耳を傷めてしまった，The FF もガンプレイで耳を傷めている），Brazil は葬儀の泣き男，"a Weep" である。因みに，The FF は墓堀り人であった。Lucy が聞き取ろうとしているのは噂ではない真実の The FF の言葉である。

> Lucy : Itssalways been important in my line to distinguish. You know. Thu know thuh difference. Not like your Fathuh. Your Fathuh became confused. His lonely death and lack of proper buriel is our embarrassment. Go on : dig. Now me I need tuh know thuh real thing from the echo. Thuh truth from thuh hersay. ⑩

Brazil は言う，The FF が埋葬されている回りには "wonders（歴史記念物）" や彼の死際の "a whisper" が残されているのではと。彼は回想する。The FF は Brazil に建国記念日毎に "the Wail", "the Weep", "the Sob", "the Moan", "the Gnash" を身を持って教え，彼が 3 才の時西に向かって去って行った。かくして，人の死を悼むことが Brazil の生業となった。"OHWAYOHWHYOHWAYOH !" と呼び掛ける Lucy の "hole talk" に何かが答え始める。そして，Brazil はリンカーンの胸像を堀り当てる。

C. Archeology は Brazil が父と和解し，その父を通して自分も人類の系譜に連なる一員であることを自覚し，そして全世界を手に入れるシーンである。Lucy は echo の分析を試みる。第 1 は音（ガンプレイ），第 2 は言葉で，タイプ A は無関係な死者の物，タイプ B は関係者の肉体を離れた声（しばしば囁き声），第 3 は肉体自身。だが，Lucy は第 2 の echo が語るものを明かさない。

Brazilは古代の化石や父の宝石箱，ワシントンの遺骨，人々の生活用具，古文書といった博物館に展示されるあらゆる品々（“Wonders”）を次々に堀り当てていく。Brazil は父が生涯を賭けて築こうとしたもの，そして彼に託そうとしたものに気づいた時，人類の営為がそれと同じようにして築かれたものであることを悟る。The FF の“a hole”は“a whole hole”であり，“a void”を“a bang”によって“a whole”に変える行為であった。Lucy の“It's an honor to be of his line. He cleared his plot for us.”⑪という台詞はこの作品の結末を暗示している。

E. Spadework において，Brazil は更に The FF が埋めておいた“Wonders”を次々に堀り当てていく。Lucy の語る父の物語に涙する Brazil に（彼は“a weep”を生業とする）彼女は父の「鋤」を与える。それは父の足跡を受け継ぐ事であり，黒人（spade）のそれを受け継ぐことも仄めかしている。彼女はそして“Look on the bright side.”と叫び，The FF がすぐ側に来ていること，そして彼に優しく声を賭けたり，リンカーン幕の口上，リンカーンの名句を語っていることを告げる。また，この場で Lucy は自身のことを語る。The FF と違い自分は The Great Man の伝記では彼の妻が正気を無くし悲惨な人生を送った箇所に引かれると。そして自分は全てにおいて The FF を受け入れ従ってきたと。Lucy も又，夫を失った大統領の妻と自分の境遇を重ねているのである。Brazil はペニーの入った袋やテレビも堀り当てる。F. Echo はそのテレビに映しだされる The FF のリンカーン幕のシーンである。

G. The Great Beyond は復活を遂げた The FF が“a great faker”として Lucy が月賦で手に入れた柩に収まるシーンである。その柩の回りに彼の遺品が置かれ，それらは最も新しい歴史の“wonder”として加わることになり，かくして“The Hall of Wonders”は完成するという設定である。Brazil はテレビの画面で再生された The FF のリンカーン幕を見ている。Lucy は既に多くの招待状を発送済みである。The FF は柩に収まる前に自分の言葉を Brazil に託すことを願い，もう一度リンカーン幕の一部をやって見せる。The FF が柩に収まると彼に代わって Brazil の口上が始まり，幕が下りる。

Brazil : Welcome Welcome Welcome to thuh hall. Of. *Wonders !!*:
(rest)
To our right A Jewel Box of cherry wood lined in velvet, letters "A.L." carved in gold on the lid.

.

.

.

To my right: our newest wonder : One of the greats Hisself ! Note : the body : sitting propped upright in our great Hall. Note : the large mouth open wide. Note the top hat and frok cout, just like the greats. Note the death wound : thuh great black hole in thuh great head. ——And how this great head is bleedin. ——Note : thuh last words. ——And thuh last breaths. ——And the how thuh nation mourns——
(*He takes his leave*) ⑫

さて，この作品において登場する人物（ある一家）はすべて"faker"である。("fake"という語は"to treat so as to give a false appearance"の意味で，"a less valuable copy of an original model"⑬の模倣を意味している。) Brazil は葬儀の場において真に迫る嘆き方を父から伝授された"a faker"である。最後の場の" Brazil : I gnash now ?, Lucy : Better save it for thuh guests. I guess. "という二人の会話にそれは見ることが出来る。Lucy は Brazil によると幼い頃，ある人物の最後の瞬間に一人で居会わせたことが幸いして人から"uh Confidence"と宣言され，それによって彼女は商売の秘訣を会得したということだ。だが，12年間その時聞いた言葉は秘密にされなければならないとされている。故に死者の秘密の真実は薮の中である。Lucy は Brazil に告げる。死者の最後の言葉は多くは囁きであるが，時にはわめき声や唸り声であったり，溜め息であったりもする。彼女はそれらの断片を繋ぎ併せ想像力を屈指して真実

を読み取るのだと。例えば Bram Price Senior の真実は生前の彼を裏切るものであった。彼の“a confisence”は“lift”であったから，彼女は彼が靴に挙げ底をしていたと結論づけた。⑮

従って，Lucy によって伝えられる The FF の言葉はしたたかな彼女のでっち上げにすぎないかも知れない。その声も姿も Brazil には聞こえないし見えないのであるから。Lucy の意図は Brazil を使って The FF の人生を単に商売の種に利用しようとしているに過ぎないとも取れる。であるならば，Lucy こそ3人の中の最大の“a faker”と言えるかも知れない。

パークスは歴史を“the historicities”という言葉で表現している。これは彼女独自の表現法であるといえるが，そられを既に述べたテーマパークや教科書的歴史といった観点から捉えている。そして，アンクル・サムのイメージやリンカーンの髭，Brazil の“a gnash”は“standing still”でといった風にだれにも馴染み深いアメリカを意識させるもの，愛国心を刈りたてるものを作品の中にちりばめ，全てを揶揄している。だが，Lucy が The FF の言葉として Brazil に伝える“Uh house divided cannot stand！(分かれた家は立つことが出来ない)”，“Of thuh people by thuh people and for thuh people.”，“Malice toward none and charity toward all.(何人に対しても悪意を抱かず全ての人に愛を持ち)”⑯というリンカーンの言葉はそれ以上のものを含んでいると考えられる。それは建国の理念に加えて彼女のグループ(アフリカン・アメリカン)にとって最も重大な出来事，奴隷解放宣言を今日においても歴史が裏切り続けていること，つまり，“a nondominant”にとって歴史こそ“a faker”であると告発しているようだ。“dominant”，“nondominant”といった表現に見られる「個のアイデンティティー」の前に立ちはだかる「グループ・アイデンティティー」を如何に超克するのか現状における歴史の声としてこの作品のメッセージに耳を傾けてみたい。

Notes :

① Susan-Lori Parks は the Yale School of Drama の an associate artist で

あり，New Dramatists のメンバーでもある。彼女の作品は以下のとおり。（　）は初演を示す。

Imperseptible Mutabilities in the Third Kingdom (1990)

The Death of the Last Black Man in the Whole Entire World (1992)

Betting on the Dust Commander (1992)

The Sinner's Place ; Fishes ; Devoutees in the Garden of Love (1992)

Venus

② *American Theatre* Vol. 11 No. 3 March, 1994 (New York, Theatre Communications Group Inc.), p. 26.

③ Ibid., p. 27 middle col. 1. 91.

④ Ibid., p. 28 middle col. l. 15-20.

From the side lines, he'd be calling "Ohwayohwhyyowayoh" and "Hello" and waving and saluting. The Hole and its Historicity and the part he played in it all gave a shape to the life and posterity of the Lesser Known that he could never shake.

⑤ Ibid., p. 29 left col. l. 1-10.

⑥ Gerard Bordman, *The Oxford Composition to American Theatre* (New York, Oxford Univ. Press, 1984), p. 530.

Laura Keene によって1858年に初演され，当時最もヒットした喜劇の一つとされている。たいていのアメリカ人はこの芝居がリンカーン大統領の暗殺時に上演されていたことを知っている。

⑦ Robert E. Lee 将軍の最後の言葉。

⑧ リンカーンの死亡時に陸軍総長 Edowin Stanton が発した言葉。

引用文の" Theyve "は" They' ve "のこと

⑨ リンカーンが撃たれた直後の Mary Todd Lincoln の言葉。

⑩ *American Theatre*, p. 31, middle col., l. 46-52.

⑪ Ibid., p. 34 right col., l. 42-43.

⑫ Ibid., p. 39 left col., l. 1-34.

⑬ *Webster's Essential English Dictionary.*

⑭ *American Theatre* p. 32 left col., l. 32-41.

Lucy : Bram Price Senior wore lifts in his shoes yes he did, Brazil. I tell you just as he told me with his last breaths on his dying bed. "Lifts." That's all he said. Then he dies. I put thuh puzzle pieces in place. ... Couldnt tell no one thought. Not even your Pa.

⑮ Ibid., p. 37 left col., l. 6-10.

最初は奴隷制に一矢を報いた1858年の演説。

二番目は1863年のゲティスバークの演説。

最後は1863年大統領に再選された時の就任演説。